



地元選手が健闘
全国高等学校スキー大会

躍動 雪の華たち咲き誇れ 鹿角の風を切って
第68回全国高等学校スキー大会

2月8日から12日にかけて、花輪スキー場で第68回全国高等学校スキー大会が行われました。

8日の開会式では、5000人ほどの選手や役員、関係者らが見守る中、選手を代表して、花輪高校の田中星那さんが「平成最後のインターハイが一生の思い出になるよう精一杯頑張ります」と力強く宣誓しました。

各競技では、地元選手が全国の舞台で健闘したほか、地元高校生で組織した生徒推進委員が、各地から集まった選手や役員をもてなしました。

最終日の12日には、クロスカントリースキークのリレー競技が行われ、花輪高校では選手を応援しようとする全校生徒が会場に集まりました。

地元選手らは各種競技で入賞したほか、花輪高校は学校対抗で女子総合優勝を果たし、2連覇を達成するなど、地元高校生が大いに活躍しました。



地元選手
健闘の記録

■女子クロスカントリー
(5キロフリー)

- 2位 本田 千佳さん (花輪2年)
- 4位 田中 星那さん (花輪3年)

(5キロクラシカル)

- 2位 田中 星那さん (花輪3年)
- 3位 本田 千佳さん (花輪2年)

■女子スペシャルジャンプ
(公開競技)

- 3位 工藤 稀凜さん (花輪3年)

■男子ノルディックコンバインド

- 6位 木村 幸大さん (花輪2年)

■女子リレー

- 2位 花輪高校

■男子リレー

- 9位 花輪高校



- ① 選手宣誓をする田中星那さん
- ② 2位入賞を果たした田中星那さん
- ③ きりたんぽを来場者に振る舞う十和田高校生
- ④ 花輪高校の全校生徒が応援
- ⑤ 総合優勝2連覇を果たした花輪高校女子
- ⑥ 9位に入賞した花輪高校男子リレー

大胆なプレーが炸裂
雪上バレーボール大会

2月3日、アメニティパークのグラウンドで、雪上バレーボール大会が開催されました。ふかふかとした雪の上でのバレーボールでは、足が思うように動かせない難しさがあり、多くの参加者が態勢を崩しながらも必死にボールに食らいつきましました。

決勝戦では、足場になれた選手らが雪に飛び込んだり、ジャンプしたりして、大胆なプレーを披露していました。



育ててくれた地域に感謝
十和田地区豆まきパレード

十和田地区で、毎年行われている十和田地区後厄実行委員会による豆まきパレードが、2月3日に行われました。

これは、後厄の男性と女性が、地域に向けた恩返しとして行っており、参加者らは、地区の各家々を巡って、「天に花咲け、地に実りあれ」と唄い、「鬼は外、福は内」と言いながら鬼役の男性に豆を投げっていました。



若手農業者ネットワーク
ネクスト農塾

市内の若手農業者の人材育成と、人的ネットワークの拡大を目的としたネクスト農塾の卒業式と入塾式が2月6日に行われました。

卒業生の代表者は、「ネットワークづくりができたことは本当によかった。また、計画をきちんと立てて農業に取り組むことが大切だと感じた」と入塾生へのアドバイスを加えて挨拶しました。



地域交流を楽しむ
大湯温泉雪まつり

2月10日と11日の2日間にわたり、地域で冬を楽しむイベントとして、大湯温泉雪まつりが開催され、大湯の各町内会からおよそ200人が道の駅おおゆに集まりました。

初日の夜には、町内会対抗の雪上綱引きなどが開催され、子どもから大人までみんなで楽しみました。この日の最後には、大湯の夜空に花火が打ち上げられ、その幻想的な景色が来場者を魅了しました。

